

ビブリオバトル in 常陸太田実行委員会

地域貢献

代表者：人文学部人文コミュニケーション学科4年 芦田 真子

連携先

常磐大学（長谷川幸一教授、岩本東子、坂本和信）

常陸太田市役所、常陸太田市立図書館

顧問教員

谷口 基（人文 准教授）

参加者

赤津 圭子（人文学部社会科学科4年）

芦田 真子（人文学部人文コミュニケーション学科4年）

飯塚 大空（人文学部人文コミュニケーション学科3年）

田嶋 直樹（人文学部人文コミュニケーション学科3年）

プロジェクトの申請内容

●プロジェクトの概要

「知的書評合戦ビブリオバトル」とは、オスメの本をひとり1冊持ち寄って5分間でその魅力を語り、集まったバトル全員が発表後、観覧者も含めた全員で「一番読みたくなった本」に投票を行ない、最多票獲得本がチャンプ本になる、というゲーム感覚の書評会である。ビブリオバトルは2007年から始まり、現在全国に普及し、各地で開催されている。茨城でも水戸市内では茨城県立図書館等で、つくば市内では筑波大学等でビブリオバトルのイベントが開催されていた。常陸太田市内は「図書館まつり」等

のイベントは積極的に行なわれていたが、ビブリオバトル未開催の地域である。ビブリオバトルの魅力として、開催も参加も非常に簡単であり、シンプルなルールであるためどの年代でも親しむことができる点がある。

常陸太田市で複数回ビブリオバトルを開催し、最終的には11月に市民の集いやすい常陸太田市立図書館で開催することによって、人と人との出会いの場を創造し、新しい本との出会い方を広めることを目指す。

●目的

常陸太田市内でのビブリオバトルの普及、並びに読書推進、地域交流

●本年度の目標

本プロジェクトはビブリオバトルを理解している本学の学生と常磐大学の学生2名が連携し、学生主体で運営する。常陸太田市民をターゲットに開催するため、以下のことを目標にする。

- ・常陸太田市民のコミュニケーションのきっかけの創造
- ・ビブリオバトルの普及

月1のペースでビブリオバトルを開催することによって、コミュニケーションのきっかけを作り、継続によってイベントを発展させていく。

そして11月に常陸太田市立図書館で行なう本大会に向けて、鯨ヶ丘商店街や朝日新聞に協力を仰ぎ、図書館以外の場所でもビブリオバト

ルを開催する。市内各所や学校にも企画広報を行ない、広く市民の参加を募る。

●期待される効果

ビブリオバトルのコンセプトは「人を通して本を知る、本を通して人を知る」である。読書とは基本的に個人的なものであるが、ビブリオバトルの場合は「本」や「読書」をキーワードに人が集うことになるため、様々なかたちの出会いを創造することが可能になる。地域に根差している図書館で主に開催する今回は特に下記の2点の効果が期待される。

①地域交流（地域住民の交流の場の形成、世代間交流の推進）

ビブリオバトルのイベントをきっかけに市民が集い、交流が生まれる。さらに本との出会いを通して市民同士の魅力を発見することができる。

②読書推進(常陸太田市立図書館の利用率向上、ビブリオバトルの認知)

本の魅力を人が実際に語ることによって、読書への新たな興味を育むことができる。さらにはビブリオバトルという「新しい本との出会い方」を知ってもらうことができ、読書の違う楽しみ方を体感してもらえる。

プロジェクトの実施概要

月	内容
5月	・チーム発足
6月	・常陸太田市役所と常陸太田市立図書館との打ち合わせ
7月	・広報開始(Twitter、Blog開設) ・第1回ビブリオバトルin常陸太

	田開催(@常陸太田市立図書館)
8月	・常陸太田市役所の方と7月のイベントを振り返る。今後の活動検討。 ・第2回ビブリオバトルin常陸太田開催(@生涯学習センター)
9月	・第3回ビブリオバトルin常陸太田開催(@常陸太田市立図書館)
10月	・第4回ビブリオバトルin常陸太田開催(@生涯学習センター) ・ビブリオバトルin東海村共催(@東海村立図書館)
11月	・第5回ビブリオバトルin常陸太田開催(@常陸太田市立図書館)



プロジェクトの成果報告

●今年度得られた成果

◇行政との協力関係の確立

常陸太田市での活動の展開において、行政との連携が不可欠であると判断した当チームは、プロジェクトの初期の段階から常陸太田市役所、常陸太田市立図書館とミーティングを複数回行い、イベントの企画・開催全体のことや施設を借りる日程など、プロジェクトの円滑な運営のために行政と協力して話し合いを進めた。また広報においても、毎回ビブリオバトル開催の際にはチームで作成したポスターを、常陸太田市役所や常陸太田市立図書館をはじめ市内各地に掲示していただいたり、常陸太田市の広報誌にプロジェクトの活動の記事を掲載していただいたりするなど、行政から多大な協力を得てよりプロジェクトの存在を広めることが出来た。



↑プロジェクトの活動が紹介された『広報むたちおた』誌



↑常陸太田市の街中に掲示されたポスター

◇常陸太田市内でのビブリオバトルの普及

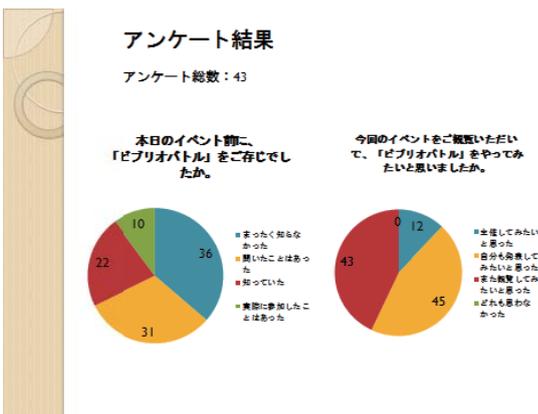
茨城県内でビブリオバトルが未開催であった地域（水戸市やつくば市では開催されていた）である常陸太田市で、当チームは7月～11月に毎月1回ずつ、計5回ビブリオバトルを開催した。その結果、常陸太田市民の方がポスターやチラシを観て、15、6人から多い時で30人近くの参加者が集まり、中には複数回参加するリピーターもいた。また、バトルで常陸太田にゆかりのある本を紹介する方も見られるなど、開催の回数を重ねていく毎に地域性が織り交ざった独特のイベント形成に至り、常陸太田市でビブリオバトルが多くの人に認知された。



↑ 7月に常陸太田市立図書館で開催したビブリオバトルの様子



↑ 11月に常陸太田市立図書館で開催したビブリオバトルの様子



↑ イベント時に毎回集計したアンケート結果

◇ビブリオバトルの輪の広がり

常陸太田市におけるビブリオバトルの普及・促進を目的として活動してきた当チームにとって思わぬ成果であったのは、常陸太田でのビブ

リオバトルに参加した人が、東海村でのビブリオバトルの開催を打診してきたことだった。東海村青年会に所属するその方から東海村立図書館でビブリオバトルを開催したいという相談を受けた当チームは、共催という形で10月末に東海村でのビブリオバトルに参加した。常陸太田でのビブリオバトルの活動がきっかけとなって、常陸太田市内だけではなく、茨城県内の他の場所でのビブリオバトルの普及が出来たことは、当初の想定以上の成果といえるだろう。

知的書評合戦
ビブリオバトル
in 東海村

本を読む楽しさを
みんなで共有しませんか？

日時 平成25年 **10月27日**(日)
第1部 14:00~15:10
第2部 15:10~16:20

What's
ビブリオバトル
紹介したい本を1冊持つくる
5分間で発表/質疑応答
観覧者は、「一番読みたい!」と思った本に投票
チャンプが決定

場所 東海村立図書館
交流ラウンジ

観覧者(ボラー)として参加したい!
⇒事前申込みが必要です
図書館(窓口/電話/メールのどれか)にて
お申込みください。
※発表者は、高校生以上が対象です
※メールの方は、①名前 ②性別 ③年齢 を明記の上、ご応募ください。
※10月1日(火)~8日(火)は、観覧点検のため休館です。この期間の応募受付はメールのみとなりますのでご了承ください。

申込み締切り **10月18日(金)**

観覧者として参加したい!
⇒事前申込みは不要です。
当日、お気軽にご来場ください。

【問い合わせ・申込み先】
東海村立図書館
〒319-1115 茨城県那珂郡東海村船場 768
電話 029(282)3435
E-mail toyo@tsukuba-shirakaba.jp
http://toyo.vill.tokai.ibaraki.jp

主催 読書会in東海村
共催 東海村立図書館/東海村の環境課/東海村 in 常陸太田実行委員会/東海村青年会

↑ 東海村でのビブリオバトルのポスター

●外部評価

ビブリオバトルin常陸太田の活動に関しては、下記のメディアに広報や活動の様子を掲載していただいた。

- ・ビブリオバトル公式ウェブサイトニュース (7月10日)
- ・常陸太田市facebook掲載

(7月28日、9月22日、10月4日、10月19日、11月5日、11月19日)

- ・広報ひたちおた
平成25年度9月号、11月号掲載
- ・茨城朝日9月11日5面
- ・よみうりタウンニュース9月12日8面
- ・読書会@東海村HP(10月18日)
- ・東海村図書館HP(ビブリオバトルin東海村、「報告 読書週間イベントを開催しました」)
- ・生涯学習情報誌「フォonz」No.69掲載

●目標達成度合

- ・常陸太田市民のコミュニケーションのきっかけの創造

ビブリオバトルの参加者アンケートより、「若い方と本を通じて心を通わすことが出来てやっぱり本は人と人とを結び付ける大きな存在」「日常生活の中だけでは出会わなかっただろう本に出会える良い機会。本を通して紹介者の一面も見ることができておもしろかった」「全然知らない人同士で行うのも良いが、友だちや知り合いの中で行っても意外な一面を知ることができそうのでぜひやってみたい」といった感想をいただいた。読書に対しての前向きな意見や本を通じた交流がよかったという声が多数寄せられた。さらには常陸太田市外からの参加者もあり、地域交流やコミュニケーションのきっかけ創造に貢献できたと思われる。

反省としては、常陸太田市立図書館を中心にビブリオバトルを開催することとなったため、鯨が丘商店街で開催するには至らなかったことである。また、朝日新聞や市内の学校への広報は十分な計画が立てられず時間がとれなかったため、効果は得られなかった。

- ・ビブリオバトルの普及
アンケートより、イベント前にビブリオバト

ルを知らなかった人、やったことのなかった人は全体の90%であったが、実際に参加した後、また参加したいと思った人が100%であり、中でも実際に主催してみたい、または発表してみたいという人が全体の約50%と、ビブリオバトルに好意的な印象を持ってもらうことができた。ビブリオバトルin東海村の共催等、活動の広がりもみられ、普及活動の成果があったと思われる。

●今後の展望

本プロジェクトは、今年度初めて活動を開始し、多くの出会いを経験することができた。

ビブリオバトルの普及という点では、常陸太田市の広報誌に掲載させていただけたことにより、市内に住む方々に広く、ビブリオバトルを知るきっかけ作りができた。また、地域連携という点では、常陸太田市役所や常陸太田市立図書館、鯨が丘商店街の商店(カフェ結+1)、読書会@東海村、東海村の環境調べ隊、東海村立図書館等様々な機関・団体との連携を取ることができ、新たな普及対象や連携方法の可能性を感じることができた。

今後は、連携・普及地域の拡大を目指し、また、小中高生・大学生等の若い世代の参加者を増やすことで、ビブリオバトルのさらなる普及を目指したい。